

議会だより



あまぎ

令和2年
3月定例会

令和2年4月25日
第115号

目次

- 令和2年度一般会計 P 2
- 一般質問 P 3
- 委員会審査報告 P11
- 令和2年3月定例会議決事項 P12
- 徳之島三カ町議会議員大会 P13
- 委員会の様子／編集後記 P14



上名道公園



B & G海洋センターにある遊具

令和2年度一般会計当初予算 58億5,552万円に決定

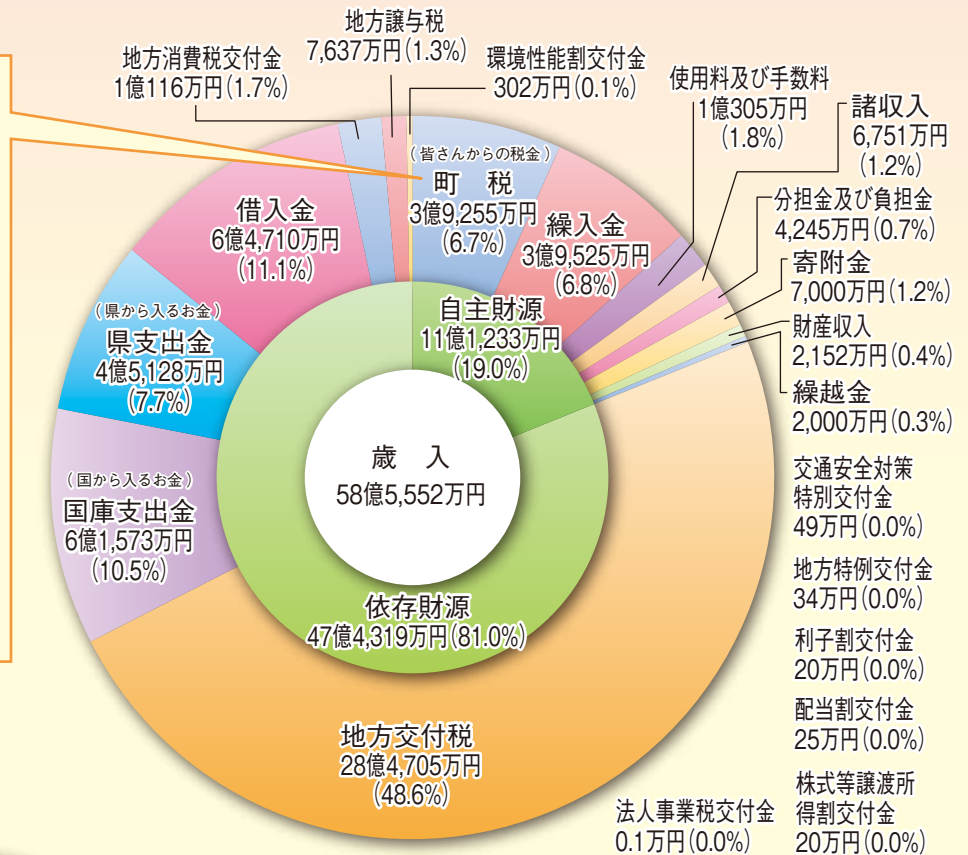
(前年度比 3億7,552万円、6.8%増)

「住んでよかった。暮らし満足度 No.1 のまち」を目指して～

令和2年第1回定例会を3月3日から23日まで開催しました。2年度当初予算や令和元年度の補正予算など28議案が提出され、そのうち28件について可決しました。一般質問では、9人の議員が質問を行いました。

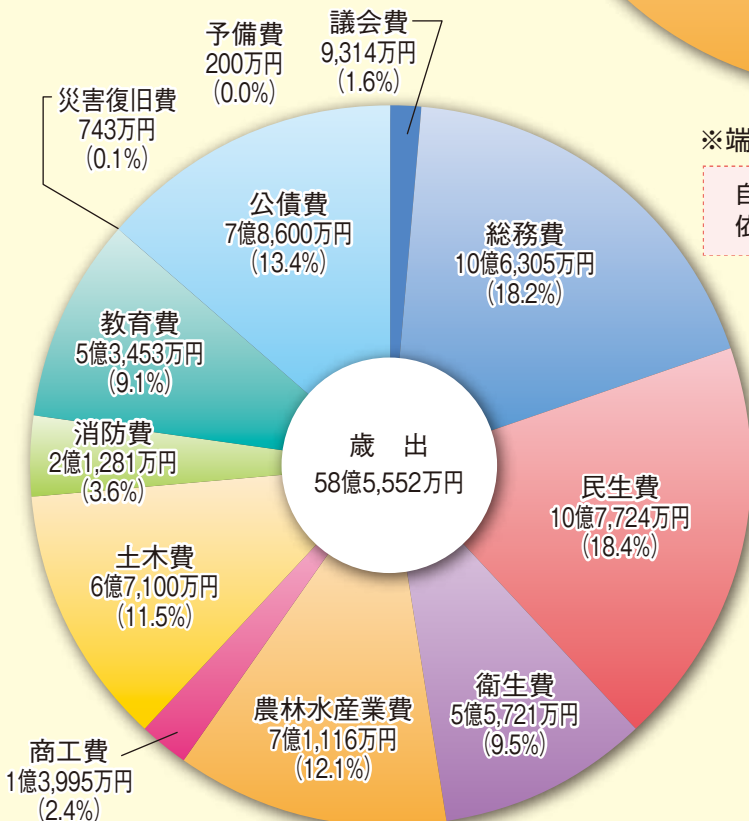
町税の内訳

区分	金額	
町民税	1億3,375万円	
内	個人	1億1,653万円
	法人	1,722万円
固定資産税	1億7,729万円	
軽自動車税	2,750万円	
町たばこ税	5,400万円	
鉱山税	1万円	



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

自主財源 … 町税など自主的に収入する財源
依存財源 … 地方交付税など、国又は県から交付される収入



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

R2年度特別会計当初予算額

国民健康保険会計	9億7,969万円
介護保険会計	9億3,123万円
後期高齢者医療会計	6,849万円

R2年度水道事業会計当初予算額

収益的収入	2億5,376万円
資本的収入	3,439万円
収益的支出	2億3,224万円
資本的支出	5,600万円

一般質問



奥 好生
議員

過去の県営畑総事業未精算金事務について

問 未精算金事務の早期解決に向けた取り組みは考えられないか。

答 減配分と増配分の受益者間で公平性が保たれていないこともあり、可能であれば町の立て替えも検討し、早期解決に向けて取り組んでいく。

南部地区の町道・農道整備にCSJN

問 瀬滝地区の未舗装の町道・農道整備対策として、新規の事業導入は考えられないか。

答 野菜出荷安定法に基づく県営畑地帯農道網整備事業により、令和4年度から順次整備していく。令和元年度に舗

装した町道の残り約100メートルについては、令和2年度中に舗装を行う。

農業ビジョンについて

問 小規模農家、兼業農家などを対象にした施策をビジョンに盛り込む考えはないか。

答 現在、第3次天城町農業ビジョンを策定中であるため、小規模農家、兼業農家などを対象にした施策も含め、農業所得の向上につながるビジョンにしたいと考えている。

住宅政策について

問 南部地区に新たに住宅を建設する考えはないか。

答 当部集落は島外や徳之島全体からも訪れる方が増えてきており、にぎやかといまますか活性化しているというふうに私は現状を把握している。また、空き家を借りて住む若い方たちも増えてきているようですので、将来の住宅

事情を勘案して木造住宅の建設を計画していきたいと考えている。

平土野地区の活性化について

問 平土野港多機能港湾新設に向けて、平土野地区の環境整備計画の具体的な施策をどのように考えているか。

答 計画が絵に描いた餅ではないので、今回つくる構想については、しっかり実行することを念頭においていきたいと思う。国交省や農水省の補助事業も活用したいと考えている。地域の力添え・ご理解をお願いしたい。

教育行政について

問 法律で議会への報告と公表が義務づけられている教育委員会等の事務等の点検及び評価は実施されているか。また、どのような形で報告、公表がされているか。

答 点検及び評価は実施して

いるが、議会への報告は行っていない。今年度末に教育行政評価会議を実施し、議会へ報告する予定である。

問 本町の中学生の全国学力、学習状況調査の結果は公表されているか。

答 今までは、公表していませんでしたが、今後は町全体の結果を町民に公表して、教育委員会としての説明責任を果たして参りたいと考えている。

問 本町の中学生の学力向上の施策として具体的な取り組みや数値目標は掲げているか。

答 具体的な数値目標については、毎年1月に実施される鹿児島学習定着度調査において、全教科の平均正答率65%を目標にしている。





吉村 元光
議員

畑総事業について

問 西阿木名地区の畑総事業推進について。

答 西阿木名集落から要望のある畑総事業（集落の県道から西側及びパイロット事業実施地区）は、現在計画にはないが地権者の同意が得られれば事業計画に上げたい。また、畑総事業（区画整理）の農家（受益者）負担額は10a当たり約3万円程度である、事業を実施することによる効果は圃場整備をはじめ懸案となっている集落排水処理や道路網整備が図られる。

問 畑地灌漑施設（スプリンクラー）整備計画と進捗状況について。

*徳之島用土地改良区の財



畑総事業（西阿木名）

政運営は、現在取り組んでいるスプリンクラー設置の整備率を上げないと将来的に町の負担が大きくなることが想定される、そこでスプリンクラー整備に係る農家（受益者）負担額を無料化して整備率のアップは図れないか？

答 農家（受益者）負担額は本来10a当たり21,000円であるが現在7,000円で施工しているので無料化は難しい。また、将来的に子や孫（次世代）が水を利用した農業が出来るようスプリンク

ラー設備の重要性をPRしていきたい。

建設行政について

問 公営住宅建設計画（西阿木名地区）について。

答 令和2年度に公営住宅1棟4戸を西阿木名集落に建設予定である。また、建設予定敷地は令和元年度に購入済である。

問 町道整備（西阿木名長畑線）舗装について。

答 令和2年度に町道（西阿木名長畑線）を舗装（延長300M）予定である。

教育行政について

問 教育文化の町推進について（広報活動・看板設置等）。

答 教育文化の町推進の柱であるOSS運動の展開におけるクリーン作戦等の活動啓蒙のための広報車による広報の充実を図りたい。また、啓蒙看板の設置にも

力を入れたい。

問 中学生海外派遣事業（語学研修）及びALTの増員について。

答 令和2年度から町内の中学生2名を海外派遣し語学研修を行う。また、ALTは現在1名設置しているが、小学校の5、6年生において外国語が教科に位置付けられることから1名増員し2名体制で外国語の学力向上を図る。



喜入伊佐男
議員

コロナウイルス対策について

問 水際での予防をどう対処するのか。

答 全国的な感染拡大が懸念されている新型コロナウイルス感染症は、幸いなことに、

徳之島・鹿児島県では感染は確認されていない状況である。この現状で一番重要なのは、島内への感染を防ぐことだと考えている。海と空の玄関を有する本町での水際対策は、徳之島全体にとっても極めて重要であり、関係機関との連携をとりながら対応しているところである。

癌治療について

問 健康管理にどのような処置をしているのか。

答 疾病の治療においては、早期発見が重要であり、特にがんはその影響を大きく受ける疾病である。本町においては早期発見のため各種がん検診を実施しているが、これまでに以上を受診率の向上を図り、早期発見・早期治癒に繋がってまいりたい。

防災教育について

問 防災教育等を子供達にどう伝えるか。

答 毎年11月5日の「津波防災の日」に合わせて兼久小学校での出前講座を実施している。今後は、他の学校での出前講座や防災講話等を計画し、児童・生徒はじめ町民の防災意識の向上に努めていく。

総合防災の取り組みについて

問 災害時における総合防災センターの機能はどのようになっているのか。

答 防災センターの機能については、避難可能人数は約300名、停電時の非常電源は72時間対応、備蓄品は、非常食660食分・マツト110枚・毛布180枚・寝具一式26セット等を保管、仮設トイレも10基保管している。



秋田 浩平
議員

施政方針について

問 安定した雇用を創出する農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上（主に農政について）。

答 サトウキビやバレイショをはじめとする畑作物の栽培や肉用牛経営、施設園芸作物などを組み合わせた複合経営が天城町の基本的な農業体系だと考えている。あわせて土づくりと畑地かんがい事業による水利用を基本に、農業所得の向上と担い手の確保を目指していきたい。

問 新しい人の流れをつくるふるさと創生室について。

答 加速する人口減少問題に対し、移住定住施策の展開と空き家対策・利活用の推進を、

より一層体制を強化して取り組んでいく。また、ふるさと納税業務に職員を増員し、返礼品のブラッシュアップや品数の充実、そして寄付された方への情報提供など、より多くの「天城町ファン」を作っていきたいと考えている。

衛生環境について

問 新型コロナウイルスについて。

答 全国的な感染拡大が懸念されている、新型コロナウイルス感染症ですが、幸いなことに、徳之島・鹿児島県では感染は確認されていない状況である。この現状で一番重要なのは、島内への感染を防ぐことだと考えている。保健所と三町行政機関等と連携を計りながら対応しているところである。



大吉皓一郎
議員

創生天城について

問 平土野港多機能港湾新設の実現と平土野地区を一体化した環境整備について。

答 去る2月21日に国土交通省国土政策局長へ要請活動を行い、また、金子万寿夫先生にも支援をお願いしてきた。3月中旬に基本構想を策定し、期成同盟会を設立し、国・県への要請活動など、取り組みを加速させていく。平土野地区の活性化については、既存の店舗の活用など、飲食店の起業支援や、景観整備等に取り組んでいく。

問 「特定地域づくり事業協同組合」の設立について。

答 本年6月4日に「特定地域づくり事業推進法」が施行

される。国において過疎地で安定した雇用の確保・増加を目指すなかで、地元の農協や漁協・商工会などが「特定

地域づくり事業協同組合」を設立し、市町村と連携した雇用計画の認定を受けることで補助を受ける仕組みとなっている。本町においてもあらゆる分野で労働力不足が顕著となっており、関係団体と前向きに検討していく。

問 「釣り文化振興促進モデル港」の申請について、その後どうなっているか。

答 釣りをキーワードにした観光振興は、大切な観光資源と認識している。今後は、策定中の「平土野港多機能港湾基本計画」を基に、周辺地域の整備と併せて、その実現に向けて関係機関と連携を図り進めていく。

農業の活性化について

問 「肉用牛の増頭に奨励金」補助が施行されているが、その後の本町の具体的な取り組みについて。

答 増頭奨励金については、繁殖規模が繁殖雌牛50頭未満で24万6千円／頭、50頭以上で17万5千円／頭となっており、畜産クラスター計画に基づき、増頭実績に応じて交付される。課題もあるが本町は増頭意欲が高まっているのであるべく交付金の対象となるよう要件確認を行い、進めていく。

建設行政について

問 西阿木名長畑線舗装・平土野玉城に通じる排水溝設置・真瀬名中央線の崩壊部の補修、側溝の整備の要望書提出事項はどのようになっているか。

答 西阿木名長畑線舗装については、令和2年度町単独事

業であるので、予算が通過次第早急に着工したい。真瀬名中央線については、入口亀甲状の表層で陥没がある。また、側面の浸食部も令和2年度当初予算の多面的支払交付金で整備したい。排水の悪い箇所は、全体1kmを県単事業で対応出来ないか問合せをした。玉城と同時に基盤促進事業として申請する。財政と協議し、入口から出口まで舗装していきたい。

問 県道（伊仙〜天城線）の拡張・ボトルネックの改良・真瀬名橋の架け替えについて、具体的な対策・協議を県側と行っているか。

答 伊仙〜天城線については、平成30年1月と7月、令和元年5月に要望書の提出を行っている。用地交渉及び改良工事に関しても町も責任を持って協力する事とし、県庁にも2回ほど要請活動をしている。ボトルネックとなっている。

いる用地の先行取得については、新しい提案だと思うので、県と協議していきたい。今後、も事業採択に向けて強く要望活動を進めていく。

問 平土野バイパス線側溝を落蓋側溝に改良できないか。

答 通学路でもあり交通量も多く、坂道なので一旦停止しなければならぬ箇所である。子ども達の安心・安全確保の観点から新年度予算の中で検討する。

教育行政について

問 学校給食センターの建て替えについて。

答 建築から40年経過しており、施設及び設備の老朽化が進んでいるため、建て替えについて計画していく。



平岡 寛次
議員

施政方針について

問 平土野港多機能港湾新設について。

答 平土野港多機能港湾新設については、3月中旬に基本構想が策定されるが、去る2月21日に国土交通省国土政策局長へ要請を行い、金子先生にも支援をお願いしてきたところである。今後、3月中には期成同盟会を設立し、基本構想を踏まえ国・県への要請活動など、実現に向けた取り組みを進めていく。

問 第2次天城町まち・ひと・しごと創生総合戦略について。

答 人口減少に歯止めをかけるべく、3月中旬に策定される第2次総合戦略に基づき、しごとの創出や移住定住の促

進、ふるさと納税の推進、関係人口の増加など、ふるさと創生に繋がる施策に積極的に取り組んでいきたい。

生活環境行政について

問 徳之島愛ランドクリーンセンター新設について。

答 徳之島愛ランド広域連合では、今後のゴミ処理行政の方向性を明らかにするため、「徳之島愛ランドクリーンセンター施設整備基本構想策定検討委員会」を平成30年7月に設立した。クリーンセンターの今後については、この検討委員会でも協議を行っているところである。そのような中、昨年12月に本町は、新施設建設の受け入れ意思を有する旨の回答書を提出した。

本年度中には、検討委員会において意見が取りまとめられる予定となっており、その推移をみながら議会及び町民の皆様にご報告させていただ

きたい。

交通行政について

問 危険箇所等の点検及び管理状況について。

答 危険箇所等の点検及び管理状況については、見廻りを行い、危険箇所が確認された場合は損害又は危険を防止するため必要措置を講じ交通に支障を及ぼさないよう努めている。また、交通の円滑を図るため必要な場所に道路標識又は区画線を設けている。



昇 健児
議員

観光行政について

問 各観光名所において、訪れる観光客がもっと楽しめる、来て良かったと思える様な、更なる整備は検討できないか。

答 観光地整備については、今年度、与名間海浜公園内のプールにウォータースライダー2基を改修。また、幼児向けのミニ遊具も設置し、親子で楽しめる憩いの場となっている。B & G海洋センターの多目的艇庫については、新たにクリアボトムカメラ、クリアスタンドアップパドルボートなどを導入して水上アクティビティの充実が図られると期待している。現在、長期的に整備事業を行っている大和城



ウォータースライダー

観光地連携整備事業でも、公園の整備や宿泊施設（バンガロー）の整備など、人と自然が共生する癒やしの観光地づくりを継続して進めていく。

建設行政について

問 前野・岡前線改良事業の今後の計画について。

答 本路線は社会資本整備総合交付金事業として、延長980mで採択されている。令和元年度は測量業務を発注。令和2年度以降は、実施設計業務、用地測量業務、用地交渉を行う予定である。地域の方々のご理解、ご協力をお願いしたい。

自治行政について

問 集落内の環境整備について。

答 集落内の環境整備について、「道路の管理は、その路線の存する行政区画在住者と町が協同の責任で行う。」と条例に明記されている。集落

住民だけでは困難な箇所に関しては、区長を通して要望書を提出していただき、事業の緊急性、重要性などを加味しつつ実施していく。

交通整備について

問 町内においてタクシーや運転代行タクシーが不足していると思うが、今後対応策は考えられないか。

答 今後の交通事情の整備については、現状や住民ニーズの把握など分析を行いながら、地域に必要な交通の確保を検討していきたい。



松山善太郎
議員

職員採用等の基準について

問 会計年度任用職員について。
答 会計年度任用職員について

では、新地方公務員法第13条（平等取扱の原則）及び第22条の2（会計年度任用職員の採用の方法等）に基づき、職員採用等の基準としている。

問 正規職員について

答 職員採用等の基準（正規職員）については、天城町職員の任用に関する規則に基づき行っている。一次試験において、一般事務等は教養試験、事務適性検査、職場適応性検査、消防士は教養試験、消防適性検査を行っている。二次試験において、一般事務等は作文試験、面接試験、消防士は面接試験、体力検査を行っている。一次・二次試験の結果を踏まえて、職員採用等の基準としている。

行政運営について

問 12月定例会で議論された事務的誤り、事件、事故等その後の処置について。

答 12月定例会で議論された事務的誤り、事件、事故等その後の処理については各種事故事案について原因を考え、今後同じような誤りが起きないように全庁体制で取り組んでいくことを目的に、天城町各種事故事案再発防止対策会議を1月30日に開催した。また、該当する職員について、天城町職員の懲戒処分等に関する指針に基づき処分を行った。さらに、この問題に関する監督者責任を明確にするため、町長の給料月額を2ヶ月間、10%の減額とし、教育長の給料月額を1ヶ月間、5%の減額を行った。

少子化対策について

問 各種支援制度の拡充について。(出産祝金・保健福祉給食費、校納金等・教委総務)

答 給食費については、主食にあたる部分を町負担とて、

おかずにあたる温食費を保護者負担として学校給食を実施している。拡充については、近隣自治体の動向を踏まえ検討していきたい。校納金等については、各学校長判断で使用する副教材費等について保護者から徴収しているのが現状である。

出産祝い金については、第一子5万円から第六子以降50万円を上限に実施している。支援拡充については、対象となる皆さんのニーズ等を把握した上で、多方面から検討してまいりたい。

高齢者福祉について

問 敬老祝金の増額、外出支援、介護予防について。

答 敬老祝い金については、天城町単独事業として行っており、令和元年度実績が258人322万円、令和2年度は300人380万円を見込んでいる。増額について

は今後の対象者数の推移を勘案しながら検討したい。

外出支援については、ポイント制度を活用したボランティアグループによる支援、有償ボランティアによる支援、事業所による福祉有償運送や買い物支援などが実施されている。利用者の皆さんの意見を反映しながら継続してまいりたい。

介護予防については、ユイサロンを始めとした体力に応じた各種サロンを実施している。また、レクリエーションやスポーツを中心とした自主サロンも実施されているところである。より幅広く利用していただけるような介護予防事業に取り組んでいく。



久田 高志
議員

医療対策について

問 島内で治療が難しいと言われる疾病患者への旅費助成要綱の内容についてどのような内容か。

答 島外治療旅費助成については新年度4月より実施できるように準備している。内容は徳之島く鹿児島間の離島割引適用後運賃の半額相当を上限に年度内3回までを予定、介添者についても必要性がある場合は助成の対象とする。

教育行政について

問 各小学校の児童数及び今後の推移についてどのように捉えているか、またどのような対策を考えているか。

答 各小学校の児童数の推移

は減少傾向にある。特に小規模校の対策として、山海留学制度を効果的に実施し、児童数の増加に取り組みたいと考えている。

公共交通について

問 公共交通の利便性向上対策及びコミュニティバス、タクシー運行について検討できないか。

答 公共交通の利便性向上対策については、昨年の8月に南部地区にデマンドバスの運行を開始したところである。その他地区においても、生活に必要な公共交通の確保や来島者などの利便性を図る必要があると考えている。また、新たなコミュニティバス、タクシー運行などについても、地域の実情や住民ニーズを踏まえ検討していきたい。

農政について

問 農作物へのイノシシ被害状況はどのようになっているか。また、今後の対策についてどのような考えがあるか。

答 イノシシ被害は県内全市町村において増加しているが、島内においては、昨年の倍近い被害ではないかと推測される。今年度はさとうきび農家を対象に、「徳之島におけるイノシシ被害対策研修会」を防災センターで行った。また、電気柵などの資材補助事業の予算を倍増し、農家個々へのイノシシ被害対策を実施すると共に、12月から2月まで、猟友会による有害捕獲活動を強化している。令和2年度もイノシシ被害対策事業予算の増額や、猟友会による捕獲の強化など、イノシシ被害対策に努めていく。

問 今後の新規品目導入等について



レザリーフファン

問 現在のようには考えられないか。

答 現在は農業センターでレザリーフファンの試験栽培に取り組んでいる。

今後も、栽培技術の確立や経済性、販路なども含め、検討してまいりたい。

財産管理について

問 空港周辺の堤防解体許可について、許可条件は遵守されているか。

答 徳之島子宝空港東側にある堤防の一部撤去については、令和元年7月29日に許可され、許可条件については遵守されているものと認識している。

堤防解体箇所について、緑化の植栽及び空港への人の往来が出来ないようにフェンスの設置を行っており、安全対策には充分配慮してまいりたい。

事務調査特別委員会について

問 事務調査特別委員会の申し入れへの対応についてどのようなことになっているか。

答 事務調査特別委員会より4項目の申し入れがあり、これについて原因を考え、今後同じような誤りが起きないように全庁体制で取り組んでいくことを目的に天城町各種事故案再発防止対策会議を行った。また、該当する職員について天城町職員の懲戒処分等に関する指針に基づいて処分を行い、併せて町長の給料月額を2ヶ月10%の減額を行った。町民の皆様にはご心配をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます、再発防止に努めていきたいと考えています。

委員会審査報告

令和2年度予算を審査

全会一致で可決

令和2年第1回定例会を3月3日から23日まで開催しました。

当初予算や元年度の補正予算など28議案が提出され、すべて可決としました。一般質問では、9人の議員が質問を行いました。当初予算については当議会の常任委員会（総務文教・建設経済厚生）に審査が付託され、それぞれの委員会ごとで所管する課の予算内容の審査と現地確認を実施しました。

令和2年度予算について

執行部へ提言

〔総務文教常任委員会〕

令和2年度天城町一般会計歳入歳出予算について総務文教常任委員会は慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の5点を執行部に申し入れました。

（意見）

1. ふるさと納税返礼品の購入にあたっては、物品等

- 入札参加資格を精査し、公正公平に行うこと。
- 各種協議会、団体への委託料や補助金については、事業費の用途を明確にする観点から、事業を統合して予算化せず、細分化して予算執行すべきである。
- 図書館の修繕料（本棚の改修）については、必要性を改めて協議すること。
- 教育文化施設（エリアゾーン）については、質の高

〔建設経済厚生常任委員会〕

1. 町税等自主財源の確保については、未申告者に対して十分な審査と調査等を実施し、公平な税負担に取り組みたい。

令和2年度天城町一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢）・水道事業会計、それぞれの歳入歳出予算について建設経済厚生常任委員会は慎重に審議を行い、賛成全員で原案のとおり可決しました。また、当委員会の意見として、次の5点を執行部に申し入れました。

- （意見）
1. 道路改良事業推進等においては、事業完了に向けて地権者等の同意を100%得て、事業を推進すべきである。
1. イノシシの鳥獣被害対策については、さとうきび、バレイシヨ等、農作物の被害が甚大であり、早急に実効性のある対策を講ずるべきである。
1. 備品管理について、各課で十分に把握をし管理を徹底すること。
1. 新型コロナウイルス対策は、水際対策を強化し徹底した感染防止策を講ずること。
1. 農薬助成、肥料助成等のすべての助成事業は、調査を行うなど助成事業の公平性が保たれるようチェック体制を徹底すべきである。

令和2年3月定例会

番 号	議 案 名	結 果
議案第3号	天城町移住定住促進条例の制定について	原案可決
議案第4号	天城町監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	天城町情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	天城町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	天城町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	天城町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	天城町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	天城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	天城町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決
議案第13号	天城町町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	天城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	天城町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	天城町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	簡易水道事業特別会計条例を廃止する条例について	原案可決
議案第18号	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第19号	令和元年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第5号）について	原案可決
議案第20号	令和元年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第4号）について	原案可決
議案第21号	令和元年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第4号）について	原案可決
議案第22号	令和元年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第3号）について	原案可決
議案第23号	令和元年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第4号）について	原案可決
議案第24号	令和2年度天城町一般会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第25号	令和2年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第26号	令和2年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第27号	令和2年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第28号	令和2年度天城町水道事業会計予算について	原案可決
発議第1号	天城町議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
	議員派遣予定の件について	可 決
議案第29号	天城町教育委員会委員の任命の同意について	原案可決
議案第30号	令和元年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第6号）について	原案可決

地域振興促進のため3町議会が結束

— 徳之島三カ町議会議員大会 in 天城町 —



令和2年2月5日（水）、天城町防災センターにおいて2年連続となる徳之島三カ町議会議員大会が開催されました。

この大会は例年5月に開催される郡議員大会に向けての提出議題を決める事が重要な目的であり、毎年、徳之島3町持ち回りで議題を提出し決定しています。今年度は、伊仙町議会より「多目的展示施設建設について」を議題として、伊仙町経済建設常任委員長の美島 盛秀議員が提案理由の説明を行いました。大会では禧久県議や寿県議もご列席頂き、貴重な御指導・助言を賜りました。

～提案された議題の主な要旨は以下のとおり～

畜産分野に関しては取引価格も安定し、大島地区の子牛出荷頭数は鹿児島県内においても、曾於、肝属に次ぐ県内3位の生産基地となっています。また、郡内においても徳之島のみ毎月セリが実施されています。生産農家戸数は減少しているものの、若手の新規担い手就農者が多く定着してきており、子牛出荷頭数も年々増加傾向にあります。このような現状を踏まえると、畜産業が徳之島における一次産業の中心となり農家の生計を支えていると考えられます。

しかしながら、平成23年に徳之島中央家畜市場が竣工されたものの、一部施設が未整備のため登録審査は徳之島中央家畜市場の駐車場で実施されている現状を見ますと、天候などに左右され、特に夏場は直射日光による人畜に対するストレスも尋常ではないと思われま。多目的展示施設を建設し、屋根付きの審査場を設置することにより、これらの課題の解決が図られると考えます。

また、地元保留牛・導入牛の指標として、セリ市前の子牛品評会の開催や、各町共進会・徳之島徳州共進会や農家の研修施設、情報交流の場としても利活用でき、素牛の品質向上や農家生産意欲の向上につながると考えられ、各市町村単位の肉用牛振興会総会会場としても利用することが可能となります。

特に、3年に一度の大島郡内市町村持ち回りで開催される、「大島地区肉用牛振興大会」においては、徳之島が大島地区の中でも子牛上場頭数が60%以上を占めており、郡内の中央に位置した地理的利便性の側面からも、徳之島が奄美地区の中核施設として期待することができます。

以上のことから、徳之島中央家畜市場隣接地へ「畜産振興施設（仮称）」の早期建設を強く要望いたします。



総務文教常任委員会



旧セリ市場の今後の整備について説明を受ける様子



ユイの里テレビのシステム機器更新における説明を受ける様子



当初予算審査の様子

建設経済厚生常任委員会



イノシシ被害現場の確認と説明を受ける様子



補修された防護柵



当初予算審査の様子

◆ 編集後記 ◆

強まる日差しに夏への移ろいを感じる季節を迎え、皆様におかれましてはエネルギーに満ち、ますますご活躍のことと存じます。

小・中学校の臨時休校や5月の闘牛大会の中止、東京五輪・パラリンピックの延期など多大な影響を与えている新型コロナウイルスが、この議会だよりがお手元に届くころには、終息していることを願っております。

2020年3月23日奄美新聞1面に「徳之島3町議会いろいろ」という見出しの記事が掲載されていきました。議会のインターネットライブ中継は、徳之島町、伊仙町は一般質問、議案審議、臨時議会と全般を中継公開しているのに対し、我が町は開会初日と一般質問のみ。森田町長・武田議長は、このことに対して両町並みの情報公開に向きの意見を述べておられます。議会改革の一つとしてぜひ実施されることを望む一人であります。

議会だより発行につきましては、AYTテレビ中継や、インターネット中継ではお伝えできない、議会の活動全般を読みやすく、わかりやすく、手に取りたくなる内容になるように心がけています。今後とも「議会だより」をご愛読くださいますようお願い申し上げます。

議会だより編集委員会 奥 好生